

☆ 6) 学術研修会についてのアンケート調査（大阪府細胞検査士会より）

1) 第 52 回学術研修会のお知らせ（大阪府細胞検査士会主催）

【日時】 2026 年 2 月 22 日（日）時間未定

【会場】 大阪国際がんセンター 大講堂

【開催方法】 現地及び WEB によるハイブリッド開催

詳細が決まり次第、[当会 HP](#) もしくは会員メールにてお知らせいたします。

2) 第 64 回日本臨床細胞学会秋期大会 in 広島のお知らせ（日本臨床細胞学会主催）

【会期】 2025 年 11 月 29 日（土）・2025 年 11 月 30 日（日）

【会場】 広島国際会議場、広島市文化交流会館

【開催方法】 現地開催＋学会終了後オンデマンド配信

プログラム、参加方法など詳細は [こちら（学会 HP リンク）](#) よりご参照ください。

3) 第 50 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会（日本臨床細胞学会近畿連合会主催）

【日時】 2025 年 12 月 14 日（日）9:45～17:00

【会場】 兵庫医科大学 平成記念会館

【開催方法】 現地及び WEB によるハイブリッド開催

プログラム、参加方法など詳細は [学術集会 HP](#) よりご参照ください。

4) 他職種公開講座および病理細胞診特別講習会のお知らせ（大臨技主催）

細胞診定期講習会シリーズも盛況のうちに終わり、12 月には久々の他部門コラボ企画を開催決定！今回は内視鏡部門さんと病理細胞検査部門共同で、「工場見学ツアー」を企画しました☆タスクシフト/シェアで密接な関係になりつつも、なんだかお互い「??? どんなことしてんねやろ???」だったのではないのでしょうか。相互理解はより良い仕事への第一歩！！今回を機に、お互いをよく知ってみませんか？

また、年明け 1 月 16 日には、「泌尿器領域の細胞診と組織診」をテーマに病理細胞診特別講習会を企画しました！いつまでたっても悩ましい泌尿器領域の細胞診と組織診の知見に加え、病理診断を受けて臨床はどのように解釈し対応するか、臨床医からの目線もご講演いただく内容を企画しております！

いずれも Web 講習会となりますので、職場やご自宅から受講可能です。皆様のご参加お待ちしております。

【内容】 ① 他職種公開講座「内視鏡部門と病理検査部 工場見学ツアー」

② 病理細胞診特別講習会「泌尿器領域の細胞診と組織診」

【講師】 ① 講師 1:「内視鏡の構造」 | 富士フイルムメディカル株式会社 内視鏡事業部営業技術グループ | 関 正広

講師 2:「病理検体採取の種類と手技」 | 大阪府済生会中津病院 生理検査室内視鏡センター | 川村 昭太

講師 3:「病理標本作製」 | 関西医科大学附属病院 病理部 | 秦 直也

② 講師 1:「泌尿器領域の細胞診 (仮)」 | 関西医療大学 | 小椋 聖子

講師 2:「泌尿器領域の組織診と臨床対応 (仮)」 | 一宮西病院 | 野村 宣徳

【日時】 ① 2025 年 12 月 5 日 (金) 18:30~20:00 (受付 18:15~)

② 2026 年 1 月 16 日 (金) 18:30 ~ 20:30 (受付 18:15~)

【会場】 ① 当日 Web 開催 + オンデマンド配信予定 (12/6 ~12/12)

② Web 開催 (Zoom を用いたライブ配信)

【評価点】 ① 基礎教科-20 点

② 専門教科-20 点 (細胞検査士クレジット JSC 2 単位/IAC 2 単位)

【参加費】 ① 一律 500 円

② 会員 500 円 非会員 1000 円

【定員】 ① 90 名 ② 200 名 (先着順) 定員になり次第終了します。

【申込期間】 ① 2025/9/20 (土) 0:00~2025/12/5 (金) 18:15

② 2025/11/20 (木) 0:00 ~ 2026/1/16 (金) 18:15

【申込方法】 ① [申込ページはこちら](#) ② [申込ページはこちら](#)

5) 第 20 回子宮内膜細胞診勉強会のお知らせ (子宮内膜細胞診勉強会 - 内膜細胞診の精度保証を考える会 -主催)

この度、以下の要領にて第 20 回子宮内膜細胞診勉強会を開催することとなりました。今回より、会場を畿央大学臨床細胞学研修センターに移し、「子宮体がんの臨床」と「記述式報告様式運用の実際」に関するミニレクチャーと症例検討会を組み合わせ構成致しました。また、参加者の方々からの持ち込み症例を先着で受け付けます。チケット購入後に下記実施責任者 (矢野) 宛てにお申し込みください。勉強会終了後は講師の先生方を交えた意見交換会を企画しております。ご多用中とは存じますが、奮ってご参加ください。

【日時】 2025 年 12 月 20 日 (土) 14:00 ~ 17:30

【場所】 畿央大学 臨床細胞学研修センター

大阪メトロ「中津」駅から徒歩 1 分 / 阪急「大阪梅田」駅茶屋町口から徒歩 3 分

大阪府大阪市北区豊崎 3-20-1 インターグループビル 3F

【定員】 20 名

【参加費】勉強会：4,400円 / 意見交換会：5,500円

【評価点】申請中

【実施責任者】 矢野恵子 関西医療大学・保健医療学部・臨床検査学科

Tel: 072-498-1196 (直) E-mail: yano@kansai.ac.jp

【申込期限】 2025年11月1日(土) 00:00~

【申込方法】 [申込ページはこちら](#)

6) 学術研修会についてのアンケート調査(大阪府細胞検査士会より)

先日メーリングリストにてご案内いたしました通り、大阪府臨床検査技師会学術研修会について、会員の方々にアンケート調査を実施させていただいております。既に御回答くださいました会員の皆様には深く御礼申し上げます。まだ御回答いただけていない会員の方は下記URLよりアクセスいただき、期日までに御回答くださいますようご協力宜しくお願い申し上げます。

御回答に際し、メールアドレスやgoogleアカウントは回答に含まれておりません。また、御回答いただいた内容は当会で厳重に管理し、学術研修会の発展に向けて活用させていただきます。

【URL】 <https://forms.gle/jaBWANh8ojowHrum6>

【対象】 当会全会員

【目的】 学術研修会の開催方法・内容等の検討

【期日】 2025年12月5日(金)

★ ~~~~~

☆ ◆ 2 <会員コラム>

★ 「大阪・関西万博の思い出」

☆ ~~~~~

★ 耳原総合病院 病理検査室

常田 立

はじめまして、私は堺市堺区にある耳原総合病院の病理検査室で働いている常田立と申します。10月は暑かったり寒かったりして体調を崩してしまいました。30歳を前にして体力の低下を感じています…

何を書こうかなと思ったのですが大阪・関西万国博覧会に行ってきたので印象に残った

パピリオンの感想でも書こうかなと思います。一番印象にあるのはベタですがイタリア館です。朝、西ゲートから入りイタリア館に並んだのですが、4時間ほど待つことになりました。人生で一番並んだんじゃないかなと思うくらいすごい列でした。4時間並んでついにパピリオンに入場できたのですが、さすがイタリア館だなという至宝の数々でした。ファルネーゼのアトラス像は凄まじい迫力を纏っていました。手の血管や足の血管の走行がはっきりわかり、これが2000年前に彫刻で作られたとは信じられませんでした。他にもレオナルド・ダ・ヴィンチのスケッチや絵画キリストの埋葬など教科書に載っている至宝の数々に圧倒されました。他の国のパピリオンがAI技術や映像美を強調している中イタリア館は彫刻や絵画など「実物」を展示することにこだわっておりこれは4時間並んでもみる価値があるパピリオンだと思いました。

二つ目はガンダムパピリオンです。両親がガンダム世代である影響で私もガンダムが好きなので、実物大のガンダムを見るだけで感動しました。宇宙で暮らすことが当たり前になった未来をテーマになっていて、実際に宇宙に行ったような気になりました。乗っているシャトルが襲撃された時に現れたガンダムがカッコ良すぎました…やっぱりアムロ・レイは最強でした…。

他にもたくさんパピリオンを周ったのですが本当に万博に行ってよかったと思いました。最初はなんやコイツと思っていたミャクミャクも今では可愛いと思えるようになりました。前回の万博は55年前…生きているかは分かりませんが次の万博を楽しみにしたいと思います。

◇◇ 編集後記 ◇◇

川端 拓司

ふと気が付けば、今年はヒートテック、毛布、暖房器具が一斉に登板しておりました。おそらく皆様がこの編集後記を読まれる頃には、季節はまた一段と寒くなっていることでしょう。せめて心はゆっくりと温めながら、冬に備えたいものですね。

2025年11月20日

※メールジャーナル登録アドレスの変更や問い合わせ等につきましては、下記メールアドレスへご連絡ください。

osakactshomubu@gmail.com

※メールジャーナル関係以外の問い合わせにつきましては、大阪府細胞検査士会事務局あて下記メールアドレスへご連絡ください。

osaka-kensashi@osakacity-hp.or.jp

